



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行 志津南地区まちづくり協議会

連絡先 志津南市民センター (563-6206)

まち協だより

第3回理事会 (6月2日)

①志津南地区として草津市のLED灯器支給事業を活用、各町内会の工事費負担により、防犯灯のLED化を進める。これにより電気料金と修理費の低減を図ることができ、工事費を差し引いても各町内会で年間4、5万円節約できる。

②草津市が進めている町内の道路や大通りの歩道などの防犯灯設置事業で、今年度2か所の割り当てがあった志津南地区はかがやき通りの市民センター裏とCATV入口前を申請した。

③今年度の志津南地区全体の防災訓練は10月7日(日)に実施、起震車を使用する予定。なお、消火訓練は町内会ごとに実施することにした。

ふれあいハウスで話を聞く 尼崎社協役員



「活動を継続させていくことが課題で、志津南では、2年前に始めたふれあい活動『喫茶お茶の間』の実績と福祉委員はじめ活動を理解し支える方々がいて開所できた」と説明しました。このあと、ふれあいハウスに会場を移し、2階の部屋でコーヒを飲みながら、ハウスの活

尼崎社協が志津南社協視察

「絆」や活動ぶりに驚き

尼崎市社会福祉協議会大庄支部の役員16人が6月19日、志津南地区社会福祉協議会の地域支えあい活動の研修に来所されました。

まず草津市社会福祉協議会会議室で、市社協の舟本事務局長が小地域福祉活動を紹介したあと、志津南地区社協の小野会長、

松本副会長、小早川福祉委員長の3人が志津南地区社協の住民福祉活動計画を柱とした福祉委員活動、地域支えあい拠点整備(ふれあいハウス活動)などについて、今後の地域住民の年齢構成の推計など背景を交え取り組みを説明しました。

尼崎市社協大庄支部の役員から「福祉委員のなり手がなくて困っている、どのようにされたのか」という質問あり。「志津南地区社協では、住民福祉活動計画を作り上げていく中で、福祉委員の必要性を住民の皆さんに説明し理解を得て、福祉委員が誕生した。人とのつながりを深める活動を続けることにより人数が増えてきている。やっとならぬうちに34人になった」と回答。ふれあいハウスについては

HP投稿待ってます

今年4月に一新されたホームページ、ご覧になりましたか?

そのトップページにある「志津南情報」は記事をこまめに更新するブログ (http://watakusa.net/blogspot.jp) と繋がっています。

ブログというのは、Web Log(ウェブブログ)インターネット上の日記)のことで、日記風に記事を次々増やせる手軽さが人気のホームページの一種です。

「活動を継続させていくことが課題で、志津南では、2年前に始めたふれあい活動『喫茶お茶の間』の実績と福祉委員はじめ活動を理解し支える方々がいて開所できた」と説明しました。このあと、ふれあいハウスに会場を移し、2階の部屋でコーヒを飲みながら、ハウスの活

動状況を、写真を中心にパワーポイントで紹介しました。懇談中「尼崎にもこのような場所があっても継続させていくことが課題やなあ?」と言われ、志津南地区の地域のつながりや活動の良さ、大切さを理解していただいたのではないかと思われま

志津南のホームページには、ブログの最新情報をお知らせするニュースラインが常に動いています(写真上)。この左のタイトルをクリックするだけでブログ(写真下)を閲覧していただくこともできます。

発信も手軽にできますので、サークルの催しや各種まちづくり活動の情報をお寄せください。またトップを飾る写真も、常にタイムリーでありたいと思っ

ています。みなさんのカメラが収められている、この地区の秀逸のワンショット、ご提供いただければありがたいです。自分発の写真やミニニュースで、「まちづくり」に参加するのも、ちょっと楽しい体験だと思われませんか?

子ども会資源回収

- ▽7月15日・8月5日 若草1丁目〜5丁目
▽7月22日・8月12日 若草6丁目〜8丁目・岡本西・グリーンピア
※朝9時まで自宅前に出して下さい

ニュースポーツを楽しむ



よる熱戦の火ぶたがきられました。当日は曇り勝ちで比較的涼しい一日でしたが、参加選手数125人の歓声と躍動で体育館内は熱気に包まれ、真夏日と錯覚するほどでした。競技種目は恒例のディスコンと今年からビーチボールに代えてスローインクゴを取り入れました。スローインクゴは読んで字のごとく「投げと並べる」競技です。ルールは簡単で、ある選手から「〇〇を狙え」との戦略指示が出たり、お孫さんと一緒に「一、二、三」の掛け声で投げるお爺ちゃん

いたり、参加者にとっても楽しい時間が共有でき、地域内のコミュニケーションが図れたようです。選手や応援で多くの参加をいただいた各町の方々、早朝から準備や5時間も立ちっぱなしで審判していただいた役員の方々、この場をお借りしてお礼申し上げます。大会の結果は以下の通りです。

ディスコンの部

- 志津南リーグ
- 優勝 5丁目
 - 準優勝 3丁目
 - 3位 2丁目
 - 準優勝 岡本西
 - 優勝 1丁目
 - 3位 4丁目

スローインクゴの部

- 志津南リーグ
- 優勝 4丁目
 - 準優勝 5丁目
 - 3位 1丁目

牟礼山リーグ

- 優勝 1丁目
- 準優勝 4丁目
- 3位 5丁目

市民スポレク祭に参加

第15回草津市民スポーツ・レクリエーション祭が6月10日、野村運動公園グラウンド・市民体育館で行われ、今年も子ども会から24人の子ども達と14人の保護者が「南風ジャンプグループ」「南玉キッズ」チームを結成して大なわとび、大玉リレーに参加しました。写真。



勝ちというルールです。小さな一年生から大きな六年生までと一緒に遊ぶので、始めはなかなか跳べませんが、練習の時に並ぶ順番や跳び方を工夫し、徐々に続くようになりました。本番では何度ひっかかってもめげずに跳びつづけ、一回戦は13回、二回戦は15回、合計28回という結果を残しました。

大玉リレーは二チーム8人、二人一組で2本の棒に乗せた大玉を一定区間運び選手交代を繰り返して、最後の4組目が先にゴールした方が勝ちというものです。同じくらいの子どものペアになり、お互いが協力してボールを慎重に運びました。

両競技とも残念ながら入賞できませんでした。みんなが一丸となる協力し合い一生懸命取り組みました。競技の後はお互いと一緒に楽しくお弁当を食べました。お昼からも自由参加種目の新体力テストや輪投げなどさまざまなプログラムに参加し、爽やかな汗を流しました。

「花ボランティア」募集

志津南地区社会福祉協議会花ボランティアグループ(代表・三根恵子)は、毎月第一火曜日午前8時から中央公園安らぎ空間の花壇の手入れをしています。

10人余りのメンバーが5月末から6月初めにかけて、ペチュニア、ベコニア、ひまわり、レンゲショウマなど植えました。今、花壇には数10種類の花々が次々と咲き華やいています。丸いレンガポットに写真に色とりどりの花を植えた傍で親子連れがレジャーシートを広げてランチタイムといったほほえましい姿も見受けられ、おのずと水遣り、花がら摘み、草引きに熱が入ります。

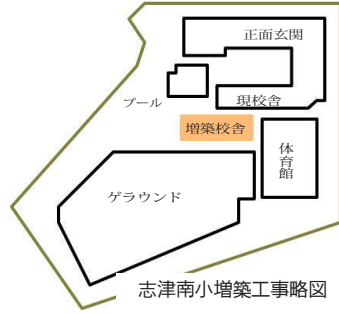
花ボランティアグループでは一緒に花壇の手入れなどご協力して下さる方を募っています。ご連絡お待ちしています。

代表 三根恵子(若草3丁目) 連絡先 077(564)5908



志津南小の増築工事始まる

今年で開校26年目を迎えた志津南小学校は学区再編後、宅地



開発が進み、年々児童数が増加して今年403人となり、いよいよ教室が不足する状況となりました。今後もしばらく児童数の増加が予測されることから、7月中旬から増築工事を行うことになりました。略図参照。

運動場側に昇降口のある教室棟(2階建て4教室)、さらに職員室・配膳室を拡張。新たに中庭に会議室(1階)を建設、職員室棟の3階までエレベータ

ーを増築します。工事中は東門付近に工事用車両の出入り口が仮設され、また遊具の一部が移設されます。さらに、運動場フェンス側に工事用の機材や車の移動スペースが確保されるため、児童や人の動線も変更されます。工事期間が25年3月までと長期にわたるため、付近の住民の皆様にご迷惑をおかけしますが、どうか理解いただきますようお願い申し上げます。

志津南小で早くも運動会

増改築工事で練り上げ



チームの旗を先頭に入場

爽やかな晴天に恵まれた6月2日、志津南小学校の南っ子わくわく運動会が「南っ子が力を合わせて思い出に残る最高の運動会をつくらう」をスローガンで開催されました。

運動会は例年9月に開催されていますが、今年が校舎の増築工事が予定されているため、3か月早い開催となりました。開会式で橋川礼子校長は「力を出し切ること」「最後まで諦めないこと」と呼びかけました。

午前中は各学年による徒競走を中心に行われました。高学年はスタートダッシュがかったよく、全力で走りぬけて行き、入学して二か月足らずの一年生は、名前を呼ばれると手をあげ大きな返事をして50メートルをめぐりして元気よく走りまわりました。

応援合戦では赤、青、黄色の3つのチームそれぞれが工夫し、笛や太鼓の音に合わせ「イケイケ、オセオセ、ワッショイ」と力強く掛け声をかけていました。

団体演技では一、二年生がキラキラ光る4色のボンボンを持って、「殺生石」などの素材になりました。

に化身し、鳥羽上皇の寵愛を受けました。上皇のお命をねらわんとしたところを陰陽師、安倍康成に見破られ、下野(現在の栃木県)の那須野に逃げました



が、ついに射(い)殺され、その霊は石と化して近寄る人や鳥獣をとり殺す殺生石となったといわれています。

ここを通りかかった南北朝時代の曹洞宗の名僧玄翁和尚(源翁とも。玄能はあて字)がその霊を哀れに思っ

り。石の毒気いまだほろびず、蜂蝶のたぐひ、真砂の色の見えぬほどかさなり死す」と記しています。金毛九尾の妖狐の余韻と言うものでしょうか。

玄翁

言葉の葉こぼれ話

玄翁(げんのう)をご存じでしょうか。物打ちの部分に鉄を用いた大工・石工用の槌(つち)のことで、片方がとがり、もう片方は平らになっている金槌(かなづち)様の道具です。

その昔、天竺で、酒色によつて王を丸め込み、悪の限りをつくした金毛九尾の狐が日本に飛来して、美女「玉藻の前」

歯磨きできるかな？

志津南健康推進員連絡協議会(小早川敏子代表)は6月25日、民生委員児童委員さんの子育て支援を受け、エプロンシアター「はみがきできるかな」の劇を市民センターで上演、お母さんに手を引かれた未就園児15人が参加しました。

6月は虫歯予防月間です。健康推進員たちが親子に扮し、幼稚園から歯磨きすることの大切さを楽しいお話にして演じました。

また大きな口をあけたワニさんが登場し歯医者さんに扮した



歯みがき劇に見入る親子

です。例年よりの練習量が少ないにも関わらず、自分の役割をこなして練習の成果を発揮、最後には立派に塔が完成し大きな拍手が送られました。

スタッフが大きな歯ブラシで歯を磨く様子も見てもらいました。約1時間、幼児たちはおとなしく興味深げに見入っていました。

お母さんたちに「甘いものを控える」「おやつを食べる量と時間」「寝る前には食べさせない」などの話にうなづいていました。

最後にスタッフ手づくりの「さつまいもとレーズン入り蒸しケーキ」とアンパンマンの子ども用歯ブラシをプレゼントしました。

環境講座で「災害と人の歴史」

市民センターは琵琶湖の遺跡で見つかる地震の跡から、大地に刻まれた災害の実態を学び、私たちの住んでいる地域での地震の影響を考える環境講座を次の通り開催します。

日時 9月1日(土) 午後1時30分～3時30分

講師 濱修氏(公益財団法人滋賀県文化財保護協会)

宿泊体験参加者を募集

対象 草津市在住・在勤者
参加費 無料
申し込み 8月1日(水)～25日(土)
問い合わせ・申し込みは志津南市民センター(公民館)まで。

志津南地区地域協働校推進委員会は次の要領で南っ子宿泊体験を実施、その参加者を募集します。

開催日 8月4日(土) 13時～5日(日) 13時まで

内容 一泊二日の宿泊体験。自然とのふれあいをメインに、焼き杉のプランターやしっぽの動くムササビを作ります。

対象 小学4～6年

定員 30人(先着順。定員になり次第締切ります)

参加費 1500円

申込 所定の用紙で、参加者本人が申し込んでください。

申込期間 7月14日(土)～25日(水)まで(但し、日祝日を除く)の時間は9時～17時まで

※別途、7月30日(月)に事前説明会を行います

(詳細は申込者にお知らせします)



- 7月21日(土)
 - 8:30~
 - ☆社会奉仕
 - 若草中央公園集合
 - ★わんぱくプラザ南っこ
 - 9:00~15:00
- 7月24日(火)
 - 10:00~11:30
 - ★地域サロン: 懐メロを歌う会
- 7月28日(土)
 - 17:00~21:00
 - ☆第15回ふれあい夏まつり
 - 若草中央公園一帯
- 8月3日(金)
 - 12:00~13:00
 - ★ふれあい昼食会
 - ボランティア「泉」
- 8月4日(土)
 - 8:15~
 - ☆健康ウォーキング
- 8月4日(土)~5日(日)
 - 13:00~翌13:00
 - ★南っ子宿泊体験
- 8月14日(火)
 - 10:00~11:30
 - ★地域サロン: 懐メロを歌う会

- 毎週金曜日
 - 10:00~12:00
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
 - 若草第五集会所(五丁目)
- 毎週金曜日を除く毎日
 - 10:00~16:00
 - ☆ふれあいハウス「絆」
 - 若草第六集会所(六丁目)
- ★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

ホタルを見つけて喜ぶ子どもたち



その後、折り紙でホタルを折り、それを持参してホタルの観察に伯母川へ出かけました。現地では、雨上がり後の増水を心配しましたが、水の流れもおちつきホタルがあちらこちらに飛びまわっているのが観察出来ました。残念ながら昨年ほど多く

わんぱくプラザ南っ子・地域協働合校は6月9日、「ホタルに会いに行こう」とホタル観察会を近くの伯母川で実施しました。

南っ子がホタル観察

態をクイズ形式で学びました。続いて、草津でホタルを築しむ会の秋山さんにより「ピッカピッカ ほくげんきにとべたよ」という題の紙芝居が上映され、スクリーンに写し出された紙芝居に子どもたちは見入っていました。

観察できませんでしたが、それでも子どもたちはホタルに触れました。

やすらぎ学級、川柳楽しむ



志津南市民センターは6月27日、やすらぎ学級第2回講座を開催、学級生34人が川柳を楽しみました。写真は「写真」

て環境保全の大切さを感じていました。

師に招き、川柳について説明を聞いた後、学級生が川柳を書いた短冊を持ち寄り、笠川さんに寸評していただきながら、お互いの作品を楽しみました。また、講座の後には、スボレクサークルと川柳サークルで短冊を七夕の笹に飾り付けしました。

- ▽後追うと 言ってみたら 楽しんで
- ▽花は聞く 俺の云う事 妻聞かず
- ▽原発も 値上がりもいや 早寝する
- ▽気にそまぬ 人におじきは 浅くなり

折々の記



- ▽仕事スキ 動くのタイスキ 腰イタイ
- ▽逝くものか スカイツリーに 登るまで

- ▽入るかな チョットためらう 老人会
- ▽愛された 日々は遠くに 空青し

若草の町に住んで二十五年、やっと地域の一員として皆さんとも交流が出来るようになったかなと思いきや、お喜びです。

恥ずかしいながら、私は七月で満八十三歳の誕生日を迎えました。自分が考えていた人生設計の枠を遙かに超えました。

83年の感慨

私は昭和四年生まれです。父親は私が生まれた三か月後に病死しました。当然父親の顔は知りません。その後母親の手一つで六人兄弟の末っ子として育てられました。

現在のような恵まれた生活はありませんでした。戦前、戦中、戦後、衣食住すべて大変な時代を経験しました。

そんな中、母親は、ただ厳しくまっすぐな人間に育ててくれました。

僅か一年半でしたが軍隊生活も経験し、十六歳で終戦を迎えました。その後も母親や兄弟をはじめ、いろんな人の協力や親切的な支援があって、今の私が在ることに感謝しています。

その当身を振り返って、私の健康はあの時代に鍛えられたのかと思います。自分でも不思議なぐらい現在元気です。年甲斐もなくいろんなことに挑戦しています。いつもカレンダーには予定がぎっしり書き込まれています。高齢になってもこのように元気に参加できていることに感謝し、みなさんの迷惑にならないよう、引き際も大切かなとも思っています。

私たちの住んでいる若草の町は、災害や事故もなく、大変恵まれた住みよい町だと思います。こんな町で地域のみなさんに見守られて生きていけることに、大変な幸せを感じ感謝しています。

「二服のない心臓に感謝する」
(感謝、感謝の83歳)